

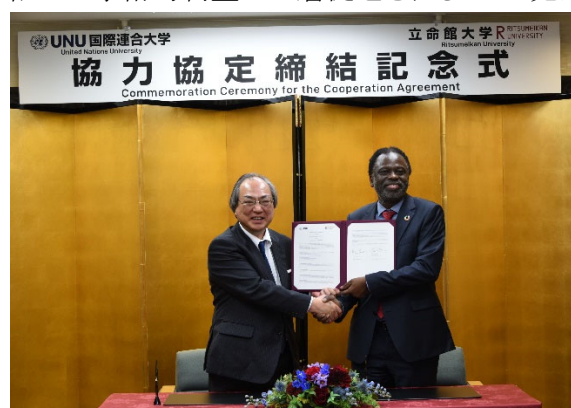
2025. 3. 4

< 配信枚数1枚 >

報道関係者 各位

立命館大学と国際連合大学が協力協定を2025年3月3日締結
国際関係・SDGs分野での共同プログラムを実施 - 研究・学術交流を加速

立命館大学(京都市中京区、学長:仲谷善雄)と国際連合大学(本部:東京都渋谷区、学長:チリツィ・マルワラ、以下「UNU」)は、研究協力をはじめとする学術交流を目的として、2025年3月3日に協力協定を締結しました。国際関係およびSDGs分野において、両大学での共同ワークショップやプログラムの実施などの学術交流を通じて、相互の学術的利益が一層促進されることが見込まれます。

**【仲谷善雄学長のコメント】**

このたび、立命館大学は国際連合大学と協力協定を締結いたしました。世界水準の研究大学との連携を深める礎を築けたことを、大変光栄に存じます。本学は学園ビジョン R2030 のもと、未来社会の変革を牽引する「次世代研究大学」として、異分野連携・融合型研究を推進し、従来の学問分野の枠組みを超えた知の融合を図り、新たな社会共生価値の創出に取り組んでおります。本協定を通じ、国際連合大学と本学がそれぞれの強みを生かしながら、SDGs や平和構築など、世界共通の課題解決に向けた共同研究や人材育成をより一層推進してまいります。

【チリツィ・マルワラ学長のコメント】

昨年、国連大学は「知識」「パートナーシップ」「インパクト」という3つを柱とする新たな組織戦略を打ち出しました。国連大学はグローバルなシンクタンクおよび教育機関であり、世界にポジティブな影響を与え、世界を変革させるための知識を生み出すことが私たちの優先課題です。しかし、この目標は国連大学のみでは達成できません。目標を達成するためには、しっかりとした信頼のできるパートナーが必要です。そのため、国連大学が、先見性のある卓越した学術機関である立命館大学とパートナーシップを結べることを嬉しく思います。

【国際連合大学について】

国際連合総会により設立されたグローバルなシンクタンクおよび大学院教育機関であり、人間の安全保障、持続可能な開発、地球規模の諸課題への包括的な取り組みを主要なテーマとしています。UNU は、国際連合の目標達成に貢献するため、加盟国および学術機関との連携を通じて、平和構築、持続可能性、貧困削減などの分野における研究と教育活動を展開しています。

以上

本リリースの配付先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会